

進路室だより③

入試制度
準備

編



入試制度と準備について &
進路室前の赤本・チラシ持ち帰り OK

1 入試制度

大学入試制度は多様化しており、その形態は「一般選抜」、「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」などに分けられます。

形態	特徴
一般選抜	【国公立大】大学入学共通テスト（1月）と大学独自の個別学力検査（2～3月）をもとに、調査書や小論文、本人記載の資料などから多面的・総合的に評価・判定される。 【私立大】3教科の受験が基本となる。文系は外国語と国語が必須で、地歴・公民・数学から1教科を選択する。理系は数学・理科・外国語の3教科が基本である。
総合型選抜	旧 A0 入試で、出願に校長の推薦が不要。「アドミッションポリシー」に基づいた「求める学生像」と受験生がその学校で「学びたいこと」が合うかどうかポイントになる。 面接、プレゼン、口頭試問、小論文、学科試験、共通テスト等、様々な組み合わせで実施される。9月以降出願、11月以降合格発表。
学校推薦型選抜	「公募制推薦」と「指定校推薦」に分けられ、校長の推薦が必要。 最も多いのが「書類審査」＋「面接」＋「小論文」。小論文の代わりに口頭試験や学科試験が課せられることもある。共通テストが課されることもある。11月以降出願、12月以降合格発表。

どの形態においても、学力、調査書、志望理由書ともに重要です。

国公立大学の総合型選抜・学校推薦型の入学者割合は、入学者全体の約 23%程度（今後は 30%程度まで増やす予定）。私立大学の割合は 60%程度。

2 準備(ボランティア活動・境考学・オープンキャンパス等)

本校では上記の総合型や学校推薦型の選抜方式で入試に挑む生徒が多い。入試では自分の強みは何なのか、部活動、ボランティア活動、境考学など、様々な活動を通して得られた知見や人間力が問われます。生半可な知識や活動では相手にされないの、とことん探究し、それがどのようなプロセスで問題解決につながったのかを、試験官が具体的なイメージを思い浮かべられるように、プレゼンや志望理由書で表現できる力を身に付けよう。また1, 2年生の時から、夏休み中に多数開催されるオープンキャンパスに積極的に参加してください。自分の夢をリアルに形成するチャンスです。

夏休みにしっかり勉強や活動をして全国のライバルに差をつけるべし！